

MiyazakiのActiveなナビゲーターを目指そう！

Ma!ナビ通信

ぴゅあネット版

(一社) 日本産業カウンセラー協会 九州支部 宮崎地域

発行：2024年11月 (毎月発行)
宮崎地域担当者会議 広報部



あなたと出会い隊

第41回 産業カウンセラー武井大幸さんにインタビュー

たけいひろゆき

「人の役に立ちたい」と情熱的に動き続け、宮崎地域での活動に貢献されている武井さんにお話を伺いました！

資格取得のきっかけを教えてください

勤めている運送会社にて、労働組合の委員長（専従役員）になって3年になります。仕事で組合員の困りごとや悩みを聴くことがあり、「傾聴ってなんだろう」と自分なりに勉強していましたが、分からなかった。そんな時お会いした、ある関東地方の委員長さんの名刺に「産業カウンセラー」とありました。産業カウンセラー協会は、組合の上部団体が賛助会員なので名称は知っていましたが、資格が書かれていたのはその方だけで、印象に残りました。同じ頃、郵便局で産業カウンセラー協会のチラシを見つけ、改めて「その方は勉強されている事で、長くその役割を担っているのだ」と感じました。「私も実行しなくては！飛び込むしかない！」と決意。養成講座に申し込み10か月コースを受講、資格取得しました。

資格取得後に変化はありましたか

相談者との向き合い方が変わったと思います。状況が切迫したギリギリの状態になってから相談に来る方も少なくありません。私は一見落ち着いていると思われるようですが、実は「湯が直ぐ沸く」ところもあって「早くどうにかしてやらなくては、何か返さなくては」と以前は解決思考型でした。資格取得後は「まずは一旦、話を聴いてみよう」と、少しゆとりをもって聴けるようになったと思います。それでも、解決思考型の私がいなくなった訳ではなく、「そういう自分もいるな」と気づきながら話を聴くことができるのは学んだ成果だと思います。

産業カウンセラー資格は取ったけれど、実践もまだまだで。これからどう活かしていけば良いかと考えた時、色んな人に会って話すこと、人脈を広げたいと思いました。その為には、まず地域活動に参加することだと、支部に問い合わせ、宮崎の運営協議委員に繋いでもらい、2023年2月から宮崎地域で活動しています。

また、協会の会員研修を受けたとき、講師の方がキラキラと輝いて、すごいと感じました。営業の仕事をしていたのでプレゼンしたり



歌うことが好きで学生時代から合唱を35年続けています。宮崎市内の合唱団に所属しており、週2回の練習を仕事や勉強の合間を縫って通うのは大変ですが、できるだけ参加するようにしています。歌うこともストレス発散になります。

提案資料を作ることも好きでしたので、協会での講師を志し今春、「認定講師」を受験しました。結果は残念でしたが、次回、再チャレンジします。それを仕事にすることではなく、社会貢献のひとつとして、お役に立ちたいと思っています。

今後の活動についてお聞かせください

労働組合の仕事をしていると、職場の困りごと、人間関係の悩みのほか、心や身体の不調、借金問題等を抱えて、メンタルダウンしている組合員と接することが多く、「命と健康を守りたい」と感じています。しかし、良い結果にならなかったときは「守れなかった、救えなかった」と後ろめたいような気持ちになります。対応が難しく、私が解決できないかもしれないけれど、何か少しでもお役に立てることがあればと常に思っています。

新しい挑戦として「宮崎県男女共同参画地域推進員」の委嘱を受け、性別などを問わず誰もが笑顔で働けるような提案や、365日全国津々浦々を走るトラックドライバーの命を守り正しい知識を伝えるため「防災士」も取得しました。持ちうる力を社会に活かすため、これからも学び続けたいです。

人との出会いが私の財産です。ひとりひとは違うけれど、その方を尊重していくために、できる限りの知識を持ちたいと思います。まだ暗中模索ですが、もがきながら頑張っています。

【取材：鶴羽、金丸】

「仕事や日常生活でのアサーティブな自己表現の基礎を学ぶ&交流会」報告

10月6日（日）宮崎地域にて、橋口愛子さんによる、仕事や日常生活でのアサーティブな自己表現の基礎を学ぶ研修が開催されました。

研修ではアサーティブの基礎知識、カウンセラーの立場としてアサーションを使い、どのように表現するか、演習を交えた研修でした。カウンセラーにとって必要条件とされる自己一致がアサーティブな考え方をすることでより一層身につくことや、他者に自分の気持ちを示せる成長につながることを学びました。



11 月度 宮崎地域担当者会議報告 (要旨のみ)

■ 地域責任者より

- ・各地域運営議員の推薦委員会を発足する。（宮崎地域の委員は平嶋さん）
- ・九州支部の S4 の会員がいないため、他支部から応援に頼っている。養成講座の実技指導者も、後継者育成が課題。
- ・シニア育成講座を 25 講座の増やし、申請している。シニア育成講座の強化を行う。
- ・JAICO はデジタル化に移行する。読み合わせ研修会も検討。
- ・SNS を各地域で作成するときは、稟議書を支部に提出する。

■ 会員研修部

- ・10月6日に橋口愛子さんを講師に迎えて、アサーション講習会を実施した。10名が参加し、基本から産業カウンセラーとしてのアサーティブな対応を学んだ。交流会の時間が足りず、交流会の大切さを実感した。
- ・今年度2回目の研修は2025年3月までに開催予定。

■ 災害ボランティア会議（ぼらたま）

- ・2025年1月19日（日）13:30より、第21回ぼらたま研修会「子ども食堂、子どもの居場所づくり活動から学ぶ対人支援」三輪邦彦氏を計画している。

■ 養成講座部

- ・11月1日より2024年度秋開講6ヶ月コース（福岡オンライン土日、フルオンライン火曜）
- ・2024年度冬開講10ヶ月コース（通学⑤教室、オンライン3教室、フルオンライン短縮26回1教室）が現在募集中
- 11月12日養成講座説明会現在参加希望者2名

■ CC 部

- ・最後の説明会を11月13日に予定しており、よろしくお願ひします。
- ・12月開講宮崎 CC 養成講習説明会10月23日に2名参加した。
- ・12月養成講習募集状況、宮崎は現在3名申し込み、4人以上で開催。